

プログラム

第1日目 9月26日(金)

第1会場 (三木記念ホール)

■ 大会長講演 (9:30 ~ 10:10)

困難であるからこそ医療と支援と回復を
～司法精神医療のミッション・パッション・プロフェッション～ 18

司会：吉川 隆博 日本精神科看護協会・東海大学医学部看護学科

演者：石津 すぐる 岡山精神科医療センター

■ 対談 1 (10:20 ~ 11:10)

「治療抵抗性統合失調症の治療」を深く考える
～精密な診断・評価と治療の洗練～ 19

司会：久保 彩子 国立病院機構琉球病院

演者：賀古 勇輝 北海道大学病院附属司法精神医療センター

演者：石津 すぐる 岡山県精神科医療センター

■ 教育講演 1 (11:20 ~ 12:05)

能力評価にあたり精神科医が果たすべき役割 20

司会：村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

演者：五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター

■ 特別講演 (13:05 ~ 13:55)

一人ひとりの支援から公共は生まれる 21

司会：賀古 勇輝 北海道大学病院附属司法精神医療センター

演者：井上 雅雄 岡山パブリック法律事務所

対談者：賀古 勇輝 北海道大学病院附属司法精神医療センター

対談者：黒岡 真澄 岡山精神科医療センター地域連携室

■ シンポジウム 1 (14:10 ~ 15:40)

触法精神障害者の地域生活を支えるための司法・福祉・医療連携のあり方について

司会：田口 寿子 一般財団法人 精神医学研究所 東京武蔵野病院

司会：藤原 正範 日本福祉大学

罪に問われる障害者の実態～傍聴調査を通じて 22

演者：藤原 正範 日本福祉大学

精神障害者の刑事裁判を通じて～弁護人の立場で、医療・福祉との協働を考える 23

演者：北村 一 岡山県弁護士会

精神障害者の地域移行・地域定着を支援して 24

演者：小武守 敬子 岡山県地域生活定着支援センター

精神科医療の立場から触法精神障害者の地域生活に関わって
～司法と福祉との協働により実現できること 25

演者：来住 由樹 岡山県精神科医療センター

■ シンポジウム 2 (15:50 ~ 17:05)

司法精神医療の連続性

－ 精神科救急と医療観察法困難事例、医療観察法後または不処遇事例の医療

司会：柏木 宏子 国立精神神経医療研究センター

司会：牧野 秀鏡 岡山県精神科医療センター

医療観察法の「その前」

－「患者」を「対象者」にしないための精神科救急－ ----- 26

演者：今井 淳司 東京都立松沢病院

複雑困難事例が処遇終了にならないための医療観察法医療の取り組み ----- 27

演者：高尾 碧 島根県立こころの医療センター

医療観察法処遇終了退院後の困難事例に一般精神科医療は
どう取り組んでいるのか ----- 28

演者：中島 直 医療法人社団新新会 多摩あおば病院

第1日目 9月26日(金)

第2会場 (4F 401 会議室)

■ 一般演題1 (10:15 ~ 11:00)

矯正医療

座長：吉永 千恵子 東日本矯正・教育医療センター

O1-1 刑務所における作業療法報告の調査 42

発表者：西村 彬 佐賀県作業療法士会 司法領域支援委員会

O1-2 鑑定留置中に拒食を呈した一例にみる拘禁下の医療対応と薬剤選択の可能性 42

発表者：杉本 裕子 岡崎医療刑務所

O1-3 性嗜好障害に対する支援の実態と制度文化：カナダ・イギリス調査からの報告 43

発表者：東本 愛香 千葉大学社会精神保健教育研究センター

■ 一般演題2 (11:05 ~ 12:05)

医療観察法入院処遇1

座長：本村 啓介 国立病院機構 肥前精神医療センター

O2-1 医療観察法入院における聴覚障害を抱える統合失調症対象者へのアプローチ 43

発表者：新田 斉久 国立精神神経医療研究センター病院

O2-2 医療観察法入院対象者間におけるピアサポート的交流～入院対象者の語りから～ 44

発表者：熊地 美枝 岩手医科大学看護学部

O2-3 医療観察法病棟における統合失調症患者に対する
前頭葉・実行機能プログラム FEP の実践報告 44

発表者：國田 幸治 北海道大学病院附属司法精神医療センター

O2-4 医療観察法病棟内での暴力事件とその対応について 45

発表者：松村 直樹 滋賀県立精神医療センター

■ 評議委員会 (12:10 ~ 12:40)

■ 一般演題3 (14:00 ~ 14:45)

医療観察法入院処遇2

座長：兼行 浩史 山口県立こころの医療センター

O3-1 医療観察法対象者の家族に対する必要な支援のあり方
ー医療観察法対象者の家族へのインタビュー調査からー 45

発表者：齋藤 真喜子 仙台保護観察所

O3-2 重度精神疾患標準的治療法確立事業データを用いた
医療観察法病棟における行動制限に関する調査 46

発表者：大澤 達哉 東京都立松沢病院

O3-3 「治療共同体」としての病棟運営
～スマートフォンの病棟使用を、対象者とスタッフとが共に考える～ 46

発表者：津田 哲也 国立精神・神経医療研究センター病院

■ 一般演題 4 (14:50 ~ 15:35)

精神保健福祉法

座長：永田 貴子 横浜市こころの相談センター

- O4-1 日本における児童青年期司法精神医学について（9）
—児童青年期の物質乱用— 47
発表者：中山 浩 川崎市南部児童相談所
- O4-2 措置診察および入院の要件に関する課題 47
発表者：村田 昌彦 社会福祉法人財団松原愛育会松原病院
- O4-3 急性期病棟に入院した精神障害者における
精神科訪問看護の利用実態と1年後効果 48
発表者：小池 純子 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

■ 一般演題 5 (15:40 ~ 16:40)

精神鑑定 1

座長：吉岡 眞吾 愛知県精神医療センター

- O5-1 子殺し未遂の事例の精神病理学考察と治療（第3報）
—鑑定人が主治医になることの意義も含めて— 48
発表者：赤崎 安昭 鹿児島大学医学部保健学科・同大学院保健学研究科
- O5-2 刑事責任能力鑑定における大学病院での
教育的実践と法曹界との相互理解の促進 49
発表者：山梨 豪彦 鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野
- O5-3 アパート住人間のトラブルをめぐる3症例の比較：
類似状況における責任能力判断の差異に関する検討 49
発表者：新井 里沙 国立精神・神経医療研究センター病院
- O5-4 「機序」の問題はなぜ解決しないのか 50
発表者：高信 径介 北海道大学病院附属司法精神医療センター

第2日目 9月27日(土)

第1会場 (三木記念ホール)

■ シンポジウム3 (8:50 ~ 10:20)

レジリエンスの構築と回復を支える司法精神医療・地域の役割

司会：草地 仁史 一般社団法人日本精神科看護協会

司会：木本 達男 岡山精神医療アドボケートセンター

医療観察法病棟における当事者のレジリエンス構築と地域移行支援の実践 ----- 29

演者：伊波 陽士 国立病院機構 琉球病院

地域における触法精神障害者への支援と訪問看護の役割 ----- 30

演者：近藤 大貴 岡山県精神科医療センター 鹿田丸訪問看護ステーション

司法領域における作業療法の現在地と展望—入口から出口、そしてその先へ— ----- 31

演者：足立 一 高知リハビリテーション専門職大学

専門職に潜む暗黙の境界—「地域」、「専門性」、— を溶かすことで生まれたレジリエンス ----- 32

演者：伊豆丸 剛史 ぐらし応援ネットワーク Liv LABO

■ 教育講演2 (10:30 ~ 11:20)

「リカバリーを目指す認知療法 (CT-R) ～医療観察法における心理療法をふりかえりつつ～」 ----- 33

司会：武田 俊彦 公益財団法人 慈恵会慈恵病院

演者：耕野 敏樹 岡山大学学術研究院社会文化科学学域 (文学部) 岡山県精神科医療センター

■ 教育講演3 (11:30 ~ 12:15)

少年院における矯正医療と退院後の支援 ----- 34

司会：梶屋 二郎 東京医科大学精神医学分野

演者：中野 温子 浪速少年院

■ 対談3 (13:00 ~ 13:50)

精神科医療施設内暴力への対応についての検討と課題

司会：平林 直次 国立精神神経医療研究センター

司法ができること—治療機会の確保とスタッフの安全のために ----- 35

演者：柑本 美和 東海大学法学部

精神科医療施設内暴力を普遍的多面的にとらえる—医療の立場から ----- 36

演者：吉岡 隆一 京都府立洛南病院

暴力を伴う複雑困難事例の治療アプローチ—医療観察法医療の立場から ----- 37

演者：石津 すぐる 岡山県精神科医療センター

第 2 日目 9 月 27 日 (土)

第 2 会場 (4F 401 会議室)

はじめに

日程表

プログラム
第 1 日目

プログラム
第 2 日目

ポスター
プログラム

指定講演

一般演題

■ 対談 2 (9:00 ~ 9:50)

当事者を支えるための成年後見制度について考える ～法人後見の実践から～

司会：尾崎 力弥 弁護士法人 岡山パブリック法律事務所

国内の法人後見の状況と全国権利擁護支援ネットワークの活動 ----- 38

演者：福島 健太 全国権利擁護支援ネットワーク

「司法福祉連携型（登録型）法人後見の実践を通じて」 ----- 39

演者：山本 俊之 特定非営利活動法人 岡山高齢者・障害者支援ネットワーク

「法律事務所における法人後見の取組みについて」 ----- 40

演者：西尾 史恵 弁護士法人 岡山パブリック法律事務所

■ 一般演題 6 (10:00 ~ 10:45)

医療観察法通院処遇 1

座長：安藤 久美子 聖マリアンナ医科大学

O6-1 通院処遇中に依存症モデルに準じた支援を継続し、
長期的な断酒と社会復帰ができたアルコール依存症の一例 ----- 40

発表者：西村 康平 神奈川県立精神医療センター

O6-2 医療観察法通院処遇の実態把握と課題解決の検討 ----- 41

発表者：久保 彩子 国立病院機構琉球病院

■ 一般演題 7 (10:50 ~ 11:50)

精神鑑定 2

座長：竹田 康二 国立精神・神経医療研究センター

O7-1 問題ある供述調書とそれのみに依拠したと考えられる精神鑑定
～中等度知的障害者の放火被告事件 ----- 51

発表者：中島 直 医療法人社団新新会 多摩あおば病院

O7-2 爆音を立てる隣人に耐えかねて傷害事件を起こした事例の鑑定経験 ----- 52

発表者：宮田 量治 山梨県立北病院

O7-3 外国人の精神鑑定における面接と記述の方法論について（試論） ----- 53

発表者：辻 恵介 武蔵野大学

O7-4 一貫して犯行を否認、犯行から 4 年経過して起訴に至った
中国人妻の夫殺害事件の鑑定、裁判員裁判の経験から ----- 53

発表者：須貝 孝一 山形県立こころの医療センター

■ 総会 (12:20 ~ 12:50)

■ 研修セミナー (13:00 ~ 16:00)

リカバリーを目指す認知療法 (CT-R) ----- 41

講師：耕野 敏樹 岡山大学学術研究院社会文化科学学域（文学部）

講師：菊池 安希子 武蔵野大学 人間科学部

一般演題 ポスター（3階ホワイエ）

■ 一般演題（ポスター）

P-01 2024年1月能登半島地震と医療観察法処遇の影響 ----- 54

社会医療法人財団松原愛育会 松原病院¹⁾、医療法人松原会 七尾松原病院²⁾
公立能登総合病院 精神センター³⁾、福井保護観察所⁴⁾

横山 誉¹⁾、松原 三郎²⁾、大松 臨²⁾、坂村 浄次³⁾、高平 大悟⁴⁾、村田 昌彦¹⁾

P-02 外国人の起訴前簡易鑑定 27 事例の検討 ----- 54

千葉県精神保健福祉センター
林 偉明

P-03 相続法の動向が遺言能力鑑定に影響しうるか ----- 55

東京科学大学保健管理センター
茨木 丈博

P-04 当院における鑑定留置13例の臨床的検討 ----- 55

高知医療センター
澤田 健

P-05 指定入院医療機関の医療や処遇の均てん化に関する研究（4）
～処遇終了事例の比較 ----- 56

国立病院機構 榊原病院¹⁾、国立病院機構 琉球病院²⁾、琉球こころのクリニック³⁾、
島根県立こころの医療センター⁴⁾、国立病院機構 小諸高原病院⁵⁾、国立病院機構 さいがた医療センター⁶⁾

壁屋 康洋¹⁾、久保 彩子²⁾、前上里 泰史²⁾、諸見 秀太²⁾、大鶴 卓³⁾、高尾 碧⁴⁾、
村杉 謙次⁵⁾、高野 真弘¹⁾、榎本 翔太¹⁾、村田 昌彦¹⁾、村上 優⁶⁾

P-06 医療観察法病棟における集団感覚アプローチプログラムの実践報告 ----- 56

大阪精神医療センター
上田 研太

P-07 基本的因子に基づいて類型化した主診断 F3 の医療観察法
入院対象者の法的・医学的因子の追加による再類型化 ----- 57

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所¹⁾、国立精神・神経医療研究センター病院²⁾
河野 稔明¹⁾、小池 純子¹⁾、竹田 康二²⁾、岡野 茉莉子¹⁾、藤井 千代¹⁾、平林 直次²⁾

P-08 通院処遇の実態把握と課題に関する調査とその解決策の検討
- 退院後の予後に関連する因子の探索 - ----- 57

国立病院機構 琉球病院¹⁾、島根県立こころの医療センター²⁾、
琉球こころのクリニック³⁾、国立病院機構 榊原病院⁴⁾
前上里 泰史¹⁾、久保 彩子¹⁾、諸見 秀太¹⁾、高尾 碧²⁾、大鶴 卓³⁾、壁屋 康洋⁴⁾

- P-09 医療観察法処遇となった対象者の家族支援に関する文献検討** ----- 58
東京医療保健大学大学院看護学研究科看護学専攻、国立精神・神経医療研究センター病院看護部¹⁾、
東京医療保健大学大学院看護学研究科、東京医療保健大学東が丘看護学部²⁾、
東京医療保健大学東が丘看護学部³⁾、東京医療保健大学大学院看護学研究科、東京医療学院大学⁴⁾
宮崎 真理子¹⁾、田中 留伊²⁾、中村 裕美³⁾、菅原 裕美³⁾、森 千鶴⁴⁾
- P-10 医療保護入院等を対象とした措置入院の要件に関する調査（中間報告）** ----- 58
京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学¹⁾、医療法人 栄仁会 宇治おうばく病院²⁾、
独立行政法人 国立病院機構 舞鶴医療センター 精神科³⁾、
京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学⁴⁾、医療法人 栄仁会 京都駅前メンタルクリニック⁵⁾
渡辺 杏里¹⁾、岡 正悟²⁾、松岡 照之³⁾、綾仁 信貴⁴⁾、三木 秀樹²⁾、岡崎 信也²⁾、赤澤 祐貴²⁾、
沢井 真樹²⁾、樋川 毅²⁾、竹田 明子⁵⁾、高木 翔太²⁾、大塚 剛史²⁾、山野 純弘³⁾、成本 迅⁴⁾
- P-11 欲求が抑えられず衝動的な窃盗に至った
高齢者の前頭葉機能低下をどう評価するか** ----- 59
高知医療センター
土田 亜希、澤田 健
- P-12 強迫症状を示す医療観察法入院患者に対し、
強迫行為の回数記録と視覚的フィードバックが効果的であった事例** ----- 59
国立病院機構さいがた医療センター
太田 哲政
- P-13 小児性愛症への認知行動療法の効果性に関するシステマティック・レビュー** ----- 60
北里大学大学院医療系研究科医科学¹⁾、北里大学大学院医療系研究科²⁾、北里大学医療衛生学部³⁾、
千葉大学社会精神保健教育研究センター⁴⁾、新潟大学人文社会科学系⁵⁾
熊谷 慎人¹⁾、野村 和孝²⁾³⁾⁴⁾、五十嵐 里奈²⁾、三好 由夏²⁾、今泉 菜緒²⁾、
佐藤 友哉⁵⁾、村瀬 華子²⁾³⁾、五十嵐 慎人⁴⁾
- P-14 医療法人せのがわにおける通院処遇の実態とその変化
ー司法プロジェクト導入による影響の検討ー** ----- 60
医療法人せのがわ 瀬野川病院
田中 佳子、白石 有理恵、前正 秀宣、津久江 亮太郎
- P-15 多職種で取り組む触法障害者の更生支援 - 作業療法士の視点を生かす** ----- 61
地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター / 相談支援センター鹿田¹⁾、
弁護士法人 岡山パブリック法律事務所²⁾、岡山県地域生活定着支援センター³⁾
奥田 真由美¹⁾、尾崎 力弥²⁾、西村 洋己³⁾
- P-16 医療観察法対象者に対する看護の質の均てん化のための
医療観察法病棟看護師向け研修項目リストの作成** ----- 61
国立看護大学校
松浦 佳代